

みんなで語り、伝えよう！ 生田川物語

生田川散策マップ

みんなで探そう！

復興の歴史

街の中に残る災害と復興の歴史を
探しながら、街の成り立ちや昔の
人々の生活について関心を深めてみ
よう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「生田川物語」
のモデル散策マップです。裏面で各散策ポ
イントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や
他の散策マップ、散策しながら学
習できるサブノートなどの入手先
は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



土砂災害が起こりやすい新生田川と六甲山地

昭和の初めごろの生田川は、川にフタがされ街
の地下を流れる暗渠でした。昭和13年（1938
年）、阪神地区に降り続いた長雨により、暗渠の
入口が土砂や流木でふさがれてしまいました。

あふれ出た激流は、布引町から加納町通りを、
すごい勢いで流れていき、三宮の街は泥水に飲み
込まれてしまいました。



マップの見方

【見学ポイント】

- 「不思議」に触れる見学ポイント
- 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
- 「安全」を考える見学ポイント
- 上記3つのうち2つ以上共通する見学ポイント

【移手段】

●●● 徒歩 (分: 矢印間の移動時間の目安)

【その他】

- 駅
- ⊗ 学校
- ≡≡≡ 鉄道
- 区役所
- トイレ

散策ポイント

スタート

- ★ JR三宮駅
- ① フラワーロード
- ② 神戸市役所
- ③ 東遊園地
- ④ 人と防災未来センター
- ⑤ 新生田川
- ⑥ 旧生田川址碑 ※交差点の中(歩道橋の下)にあるので、歩道から眺めて下さい。
- ⑦ 水害復興記念碑
- ⑧ 生田神社(生田の森)
- ⑨ 外国人旧居留地
- ⑩ 神戸港震災メモリアルパーク
- ★ バス停(メリケンパーク)
- ゴール

【問い合わせ先】

国土交通省 六甲砂防事務所
住所: 〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話: 078-851-0535
ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

みんなで探そう！復興の歴史 (ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

フラワーロード

19,20P

新生田川は、その昔、現在のフラワーロードを流れていました。当時の川幅は約100mもあったため、交通の障害となっていました。また、大雨が降るとすぐにあふれるやっかいな川でした。
生田川が現在の場所になったのは明治初期のころで、下流の外国人居留地に対する洪水対策を強く求められたためです。



人と防災未来センター

42P

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災から得た貴重な教訓や命の大切さなどを世界に発信することを目的に設立されました。施設内では、地震のすさまじさを映像と音響で感じたり、再現された震災直後の街なみを歩いたり、被災者から当時の様子を聞くことができます。

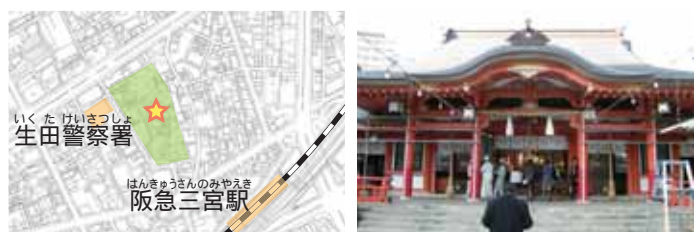


センターでは、震災直後や復興までの街の様子を学ぶことができますよ！

生田神社(生田の森)

35P

生田神社境内には、1本の松もありません。これは、生田神社の神さまが砂子山(布引)の上に祀られていた昔、土砂災害で流されそうになったときに、一面の松がまったく役に立たなかったため、松をきらいになったという伝説が残っているからです。



生田神社の神さまは、なぜ松がきらいなのかな？

阪神・淡路大震災

平成7年(1995年)1月17日未明、兵庫県南部地震が発生し、一瞬にして人々の日常を奪い去っていきました。



神戸市役所

21P

旧生田川は、川底が周辺の平地よりも高いところを流れる天井川でした。フラワーロードに面して建つ神戸市役所の2号館(東側)は、旧生田川の堤防上にあります。そのため、西側の3号館は東側より1階分低くなっており、天井川であったことがわかります。



神戸市役所の東西の出入口の階が違うのはどうしてかな？

新生田川

22,52,55P

あふれだし、大きな災害を起こした川ですが、戦後に川沿いの公園整備が進みます。「ふるさとの川モデル河川」として、昭和63年度(1988年度)より桜なみ木や親水広場などが整備されました。今では、人々が川とふれあうイベントも行われ、市民に親しまれる都会のオアシスとなっています。



外国人旧居留地

19,36P

慶応3年(1868年)の神戸開港により、外国人が住んだり、仕事をする街として外国人居留地がつけられました。現在も西洋風の雰囲気を残しています。また、この場所は旧生田川の河口にあり、何度も水害にあいました。そのため、川の流れが替えられることとなりました。



外国人居留地には、外国の文化や街なみがあふれているよ！

東遊園地

19,58P

生田川の流れを替える工事は、加納宗七が中心となっており、わずか3ヶ月で、現在の新生田川を完成させました。東遊園地には、その功績をたたえた加納宗七の銅像と石碑が建てられています。また、公園の中には、阪神淡路大震災を伝えるモニュメントが多くあります。



加納宗七って知ってる？
生田川と深い関わりがある人なんだよ！

旧生田川址碑・水害復興記念碑

19,55P

加納町3丁目の交差点には、旧生田川址碑が建てられています。これは、かつてこの場所を旧生田川が流れていたことを示すものです。また、この交差点の南約30mほどの路地に、阪神大水害による被害の様子を記した記念碑が建てられています。



私たちの街は、かつて、土砂に埋まっていたんだよ！

神戸港震災メモリアルパーク

42,58P

この公園は、神戸港のメリケンパークの一角にあります。阪神・淡路大震災で、メリケンパークも大きな被害を受けました。地震のおそろしさや、港の復興の様子などを後の時代に伝えるため、岸壁の一部(約60m)を被災当時のままの状態で見学することができます。



阪神・淡路大震災直後の様子がそのまま保存されているんだよ！

震災モニュメント

私たちの街には、震災モニュメントが建てられています。それは、亡くなった方々の魂を鎮めるとともに、私たちが震災の経験を忘れずに、後の時代に伝えていく決意でもあります。

